

「待降節を迎えて」

講座の補足資料 (16.12.8)

1. 待降節とは：「待降節には、二つの特質がある。まず、神の子（メシア）の第一の来臨（主の降誕）を記念する祭日の準備期間であり、また、同時にその追憶を通して、終末（救いの完成の日）の来臨の待望へと心を向ける期間である。」
2. 特に待降節の前半には、主日のミサでイザヤのメシア預言が朗読される。

(1) 待降節第一主日：「終末の平和」イザヤ 2.1-5。

(2) 待降節第二主日：「平和の王の到来」イザヤ 11.1-10。

7.8-17 (イザヤ 7.14) ; 9.1-6;
サウエル

3. では、メシア預言は、今日の世界に何を問いかけているのか。

・真の平和をこの地上にもたらすメシアを迎えるために、我々に課された責務とは何か。

・それは、平和実現のための具体的な行動に移ることにほかならない。この、終末的な問いかけにどのように応えるべきか皆で話し合うべきではないか。

・今日の世界の現状分析から始める。教皇フランシスコは、第三次世界大戦は、すでに散発的に始まってと警告しておられる。

特に、我が国が戦争のできる国にしようとして暴走している現政権にどのように立ち向かえるのか。